

平成 28 年 8 月 29 日

広島県物産陳列館（現在の原爆ドーム）設計者ヤン・レツル氏の
墓参りおよび遺族との懇談を行います

本学原爆瓦発送之会会長^{かようれぶん}嘉陽礼文（国際部国際交流グループ研究員）、学生 2 人および大学院医歯薬保健学研究院の吉栖^{よしすみまさお}正生教授は、9 月 12 日～18 日の日程でチェコ共和国へ訪問し、広島県物産陳列館（原爆ドーム）の設計者であるヤン・レツル氏の墓参りに併せ遺族と懇談を行い、原爆ドームの破片を寄贈します。

ヤン・レツル氏の墓所はポーランドとの国境近くに位置するナーホドという町にあり、本学からの墓参りは 2014 年 2 月に実施して以来、3 度目になります。今回は初めてヤン・レツル氏の遺族と懇談を行い、遺族が所有する遺品などの説明を受ける予定です。
※帰国後に報告会を実施する予定です。

なお、本学は被爆 70 年にあたる昨年 8 月 6 日に、チェコ共和国下院議員団を本学医学資料館へ迎え、原爆ドームの破片「デンティル」を寄贈しました。その破片はチェコ国内で巡回展示が行なわれており、現在はチェコ共和国のナーホドにて展示をされています。



【本年 2 月に実施した第二回墓参の様子】

【お問い合わせ先】

国際室国際部
国際交流グループ 嘉陽礼文
Tel : 090-1185-1620 FAX:082-424-4545
kayo123@hiroshima-u.ac.jp